小城市出前講座 @小城高校

～ 総合計画について ～

令和6年7月25日

小城市企画政策課

本日の流れ

1. 小城市の概要について

2. 総合計画とは

3. まちづくり市民会議について
～小城市のことを考えてみよう～

小城市の概要について

小城市ってどんなところ？

小城市

- 平成17年（2005年)3月1日
  小城郡４町が合併し『小城市』に
- 人　口　：　44,281人
- 世帯数　：　17,346世帯
  【令和５年(2023年)10月1日 住基】
- 面　積　：　95.81km²
- 市の花　：　さくら
- 市の木　：　桜
- 特産品　：　羊羹・米・海苔

小城市ってどんなところ？

長い歴史　――　弥生時代から・・・・

三日月町：土生遺跡

小城市の魅力

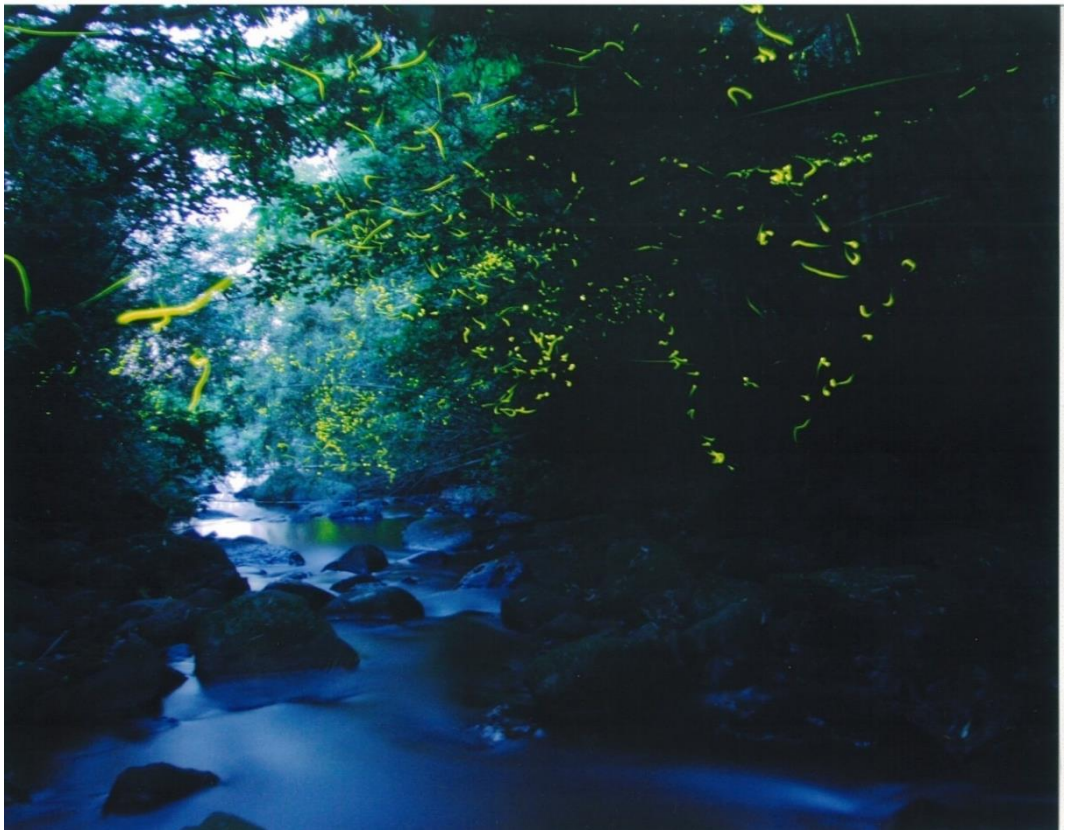
左上：天山からみた有明海
右上：有明海から見た天山

山から海へと広がる大地

小城市の魅力

山の恵み

水がきれい

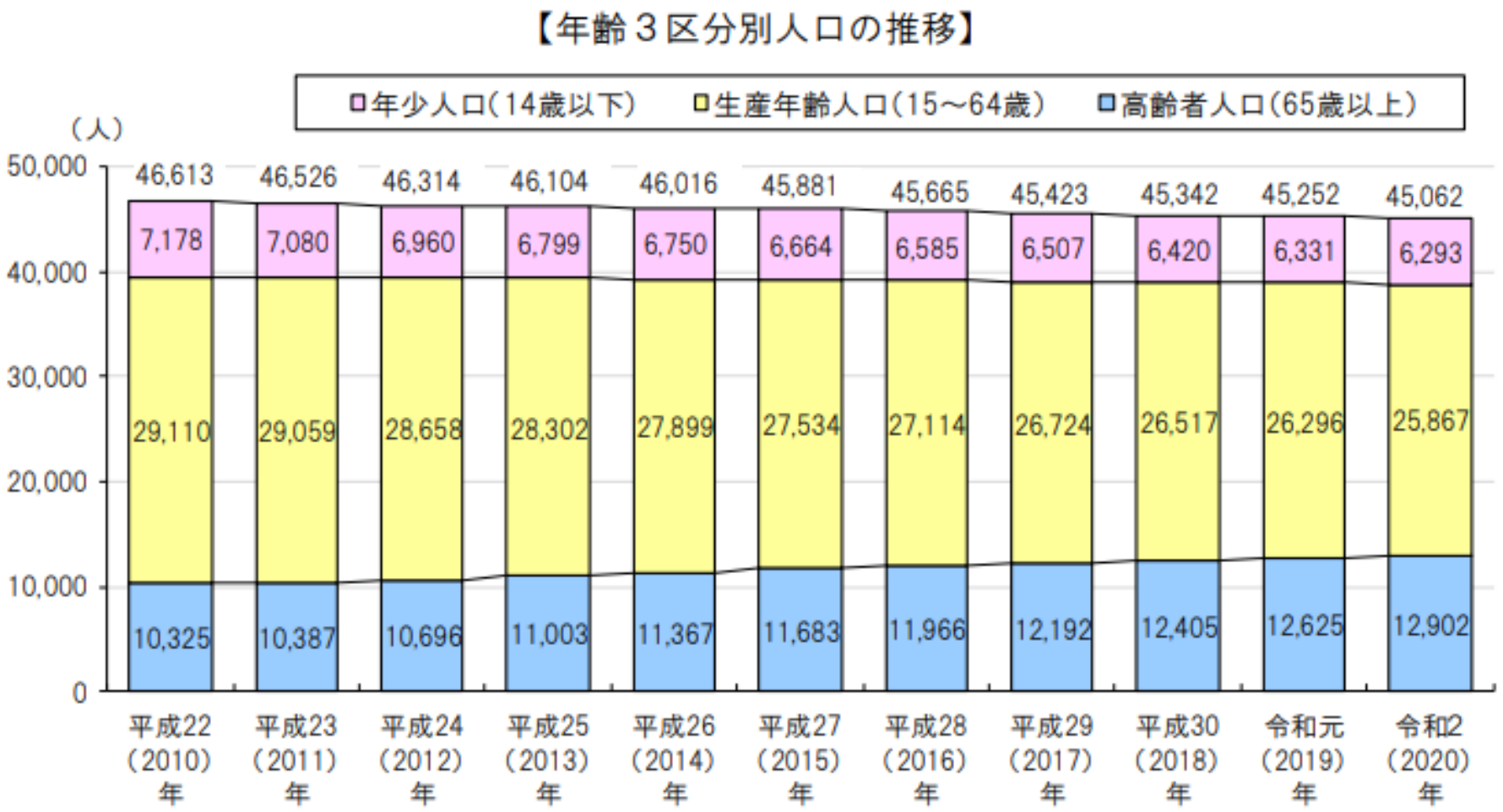


祇園川のホタルと清水の滝

全国名水百選

特産品もたくさんあります！

小城市の人口推移（住民基本台帳各年10月1日現在）

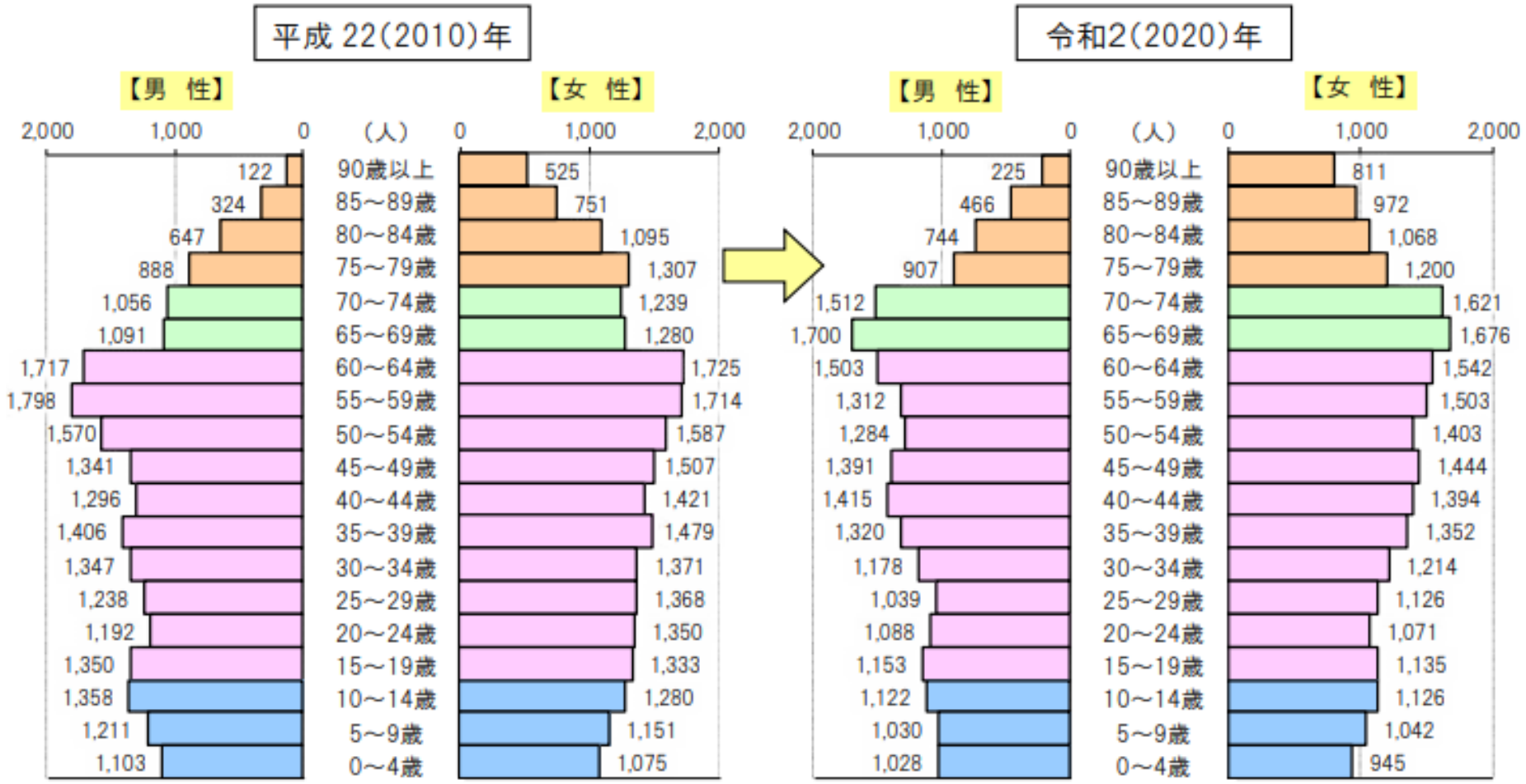


出典：「小城市将来人口推計」令和３(2021)年6月より

小城市の人口ピラミッドの推移（年齢5歳階級別人口）

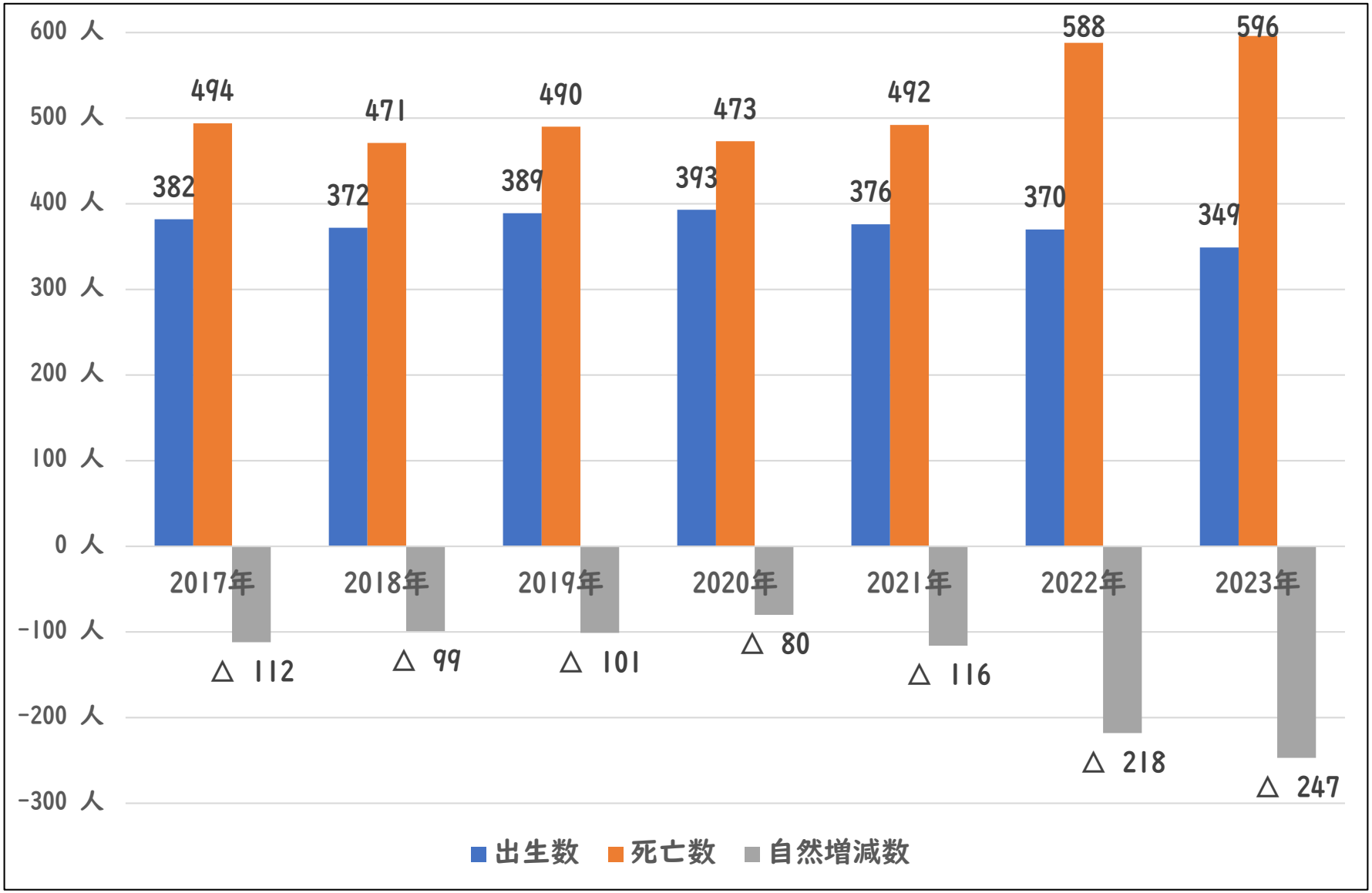
（住民基本台帳各年10月1日現在）

【年齢５歳階級別人口の推移（人口ピラミッド）】

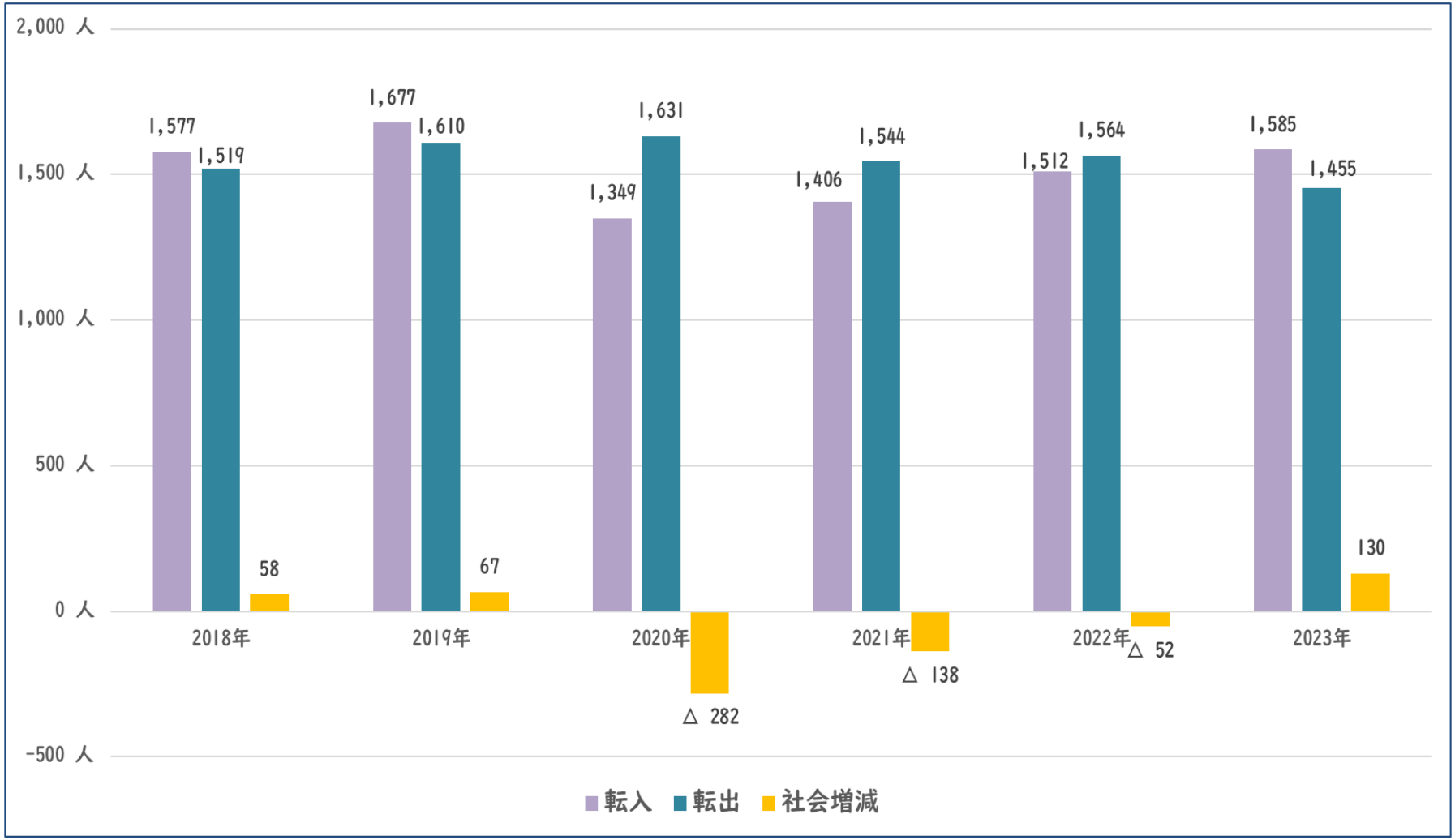


出典：「小城市将来人口推計」令和３(2021)年6月より

小城市の出生数・死亡数の推移



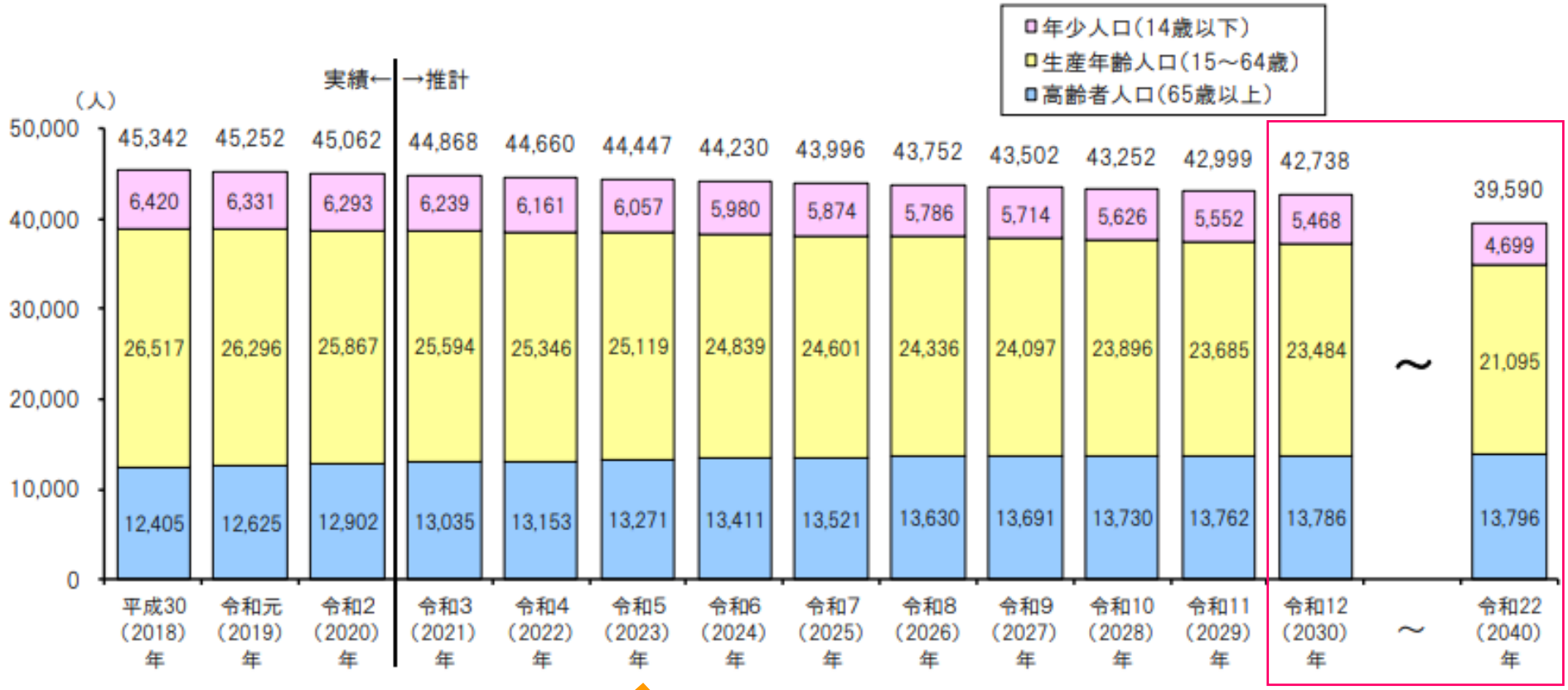
小城市の転入数と転出数の推移



将来の人口推計はどうなる？

2040年には、働く世代の人口、子どもの人口はともに、2018年の80%以下に!!

【年齢３区分別人口の推移（小城市全体）】



引用：『小城市将来人口推計／令和3年6月』より

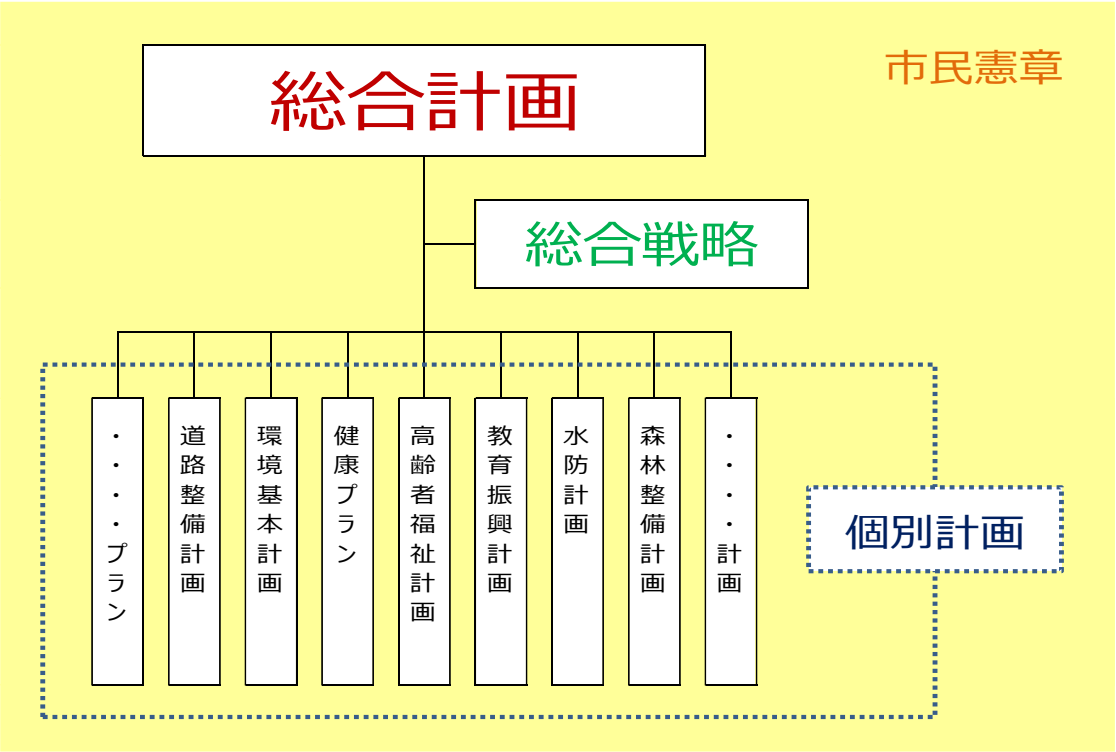
令和5年10月1日現在 44,281人

総合計画とは

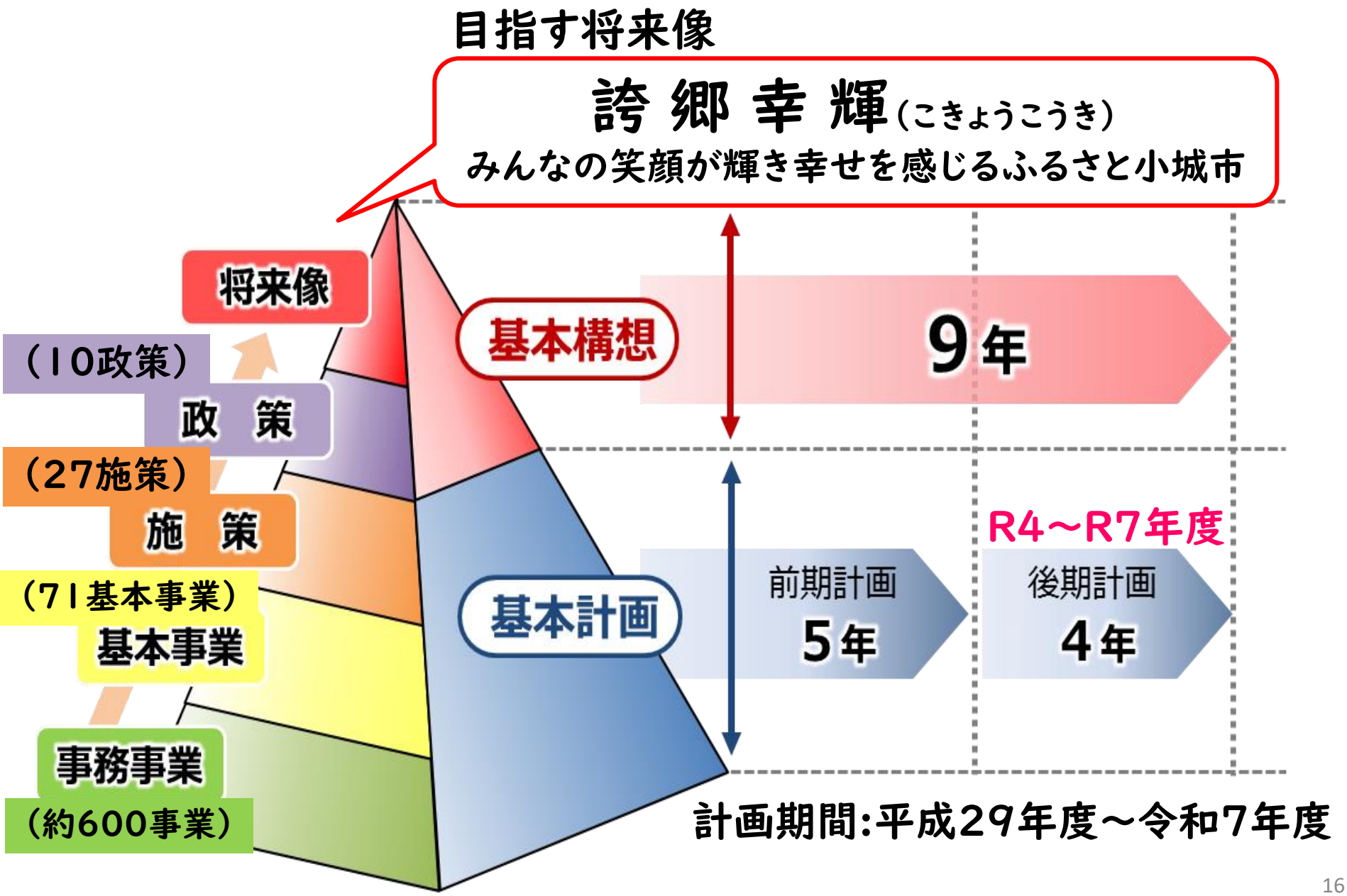
総合計画とは

市政運営の最も基本となる計画（最上位計画）

長期的な視野に立って、市が目指すまちづくりの方向性、市の基本的な取り組みを示すものです。（小城市の将来のまちづくりのビジョン）



第2次総合計画の構成


目指す将来像
誇郷幸輝(こきょうこうき)
みんなの笑顔が輝き幸せを感じるふるさと小城市
将来像
(10政策)
政策
(27施策)
施策
(71基本事業)
基本事業
事務事業
(約600事業)
基本構想
9年
基本計画
前期計画
5年
後期計画
4年
R4～R7年度
計画期間:平成29年度～令和7年度

SDGs（持続可能な開発目標）

SDGsは、すべての関係者の役割を重視し、「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現のため、17のゴール及び細分化された169のターゲットから構成されています。

国際連合広報センターHP　SDGsポスター（17のアイコン　日本語版）　から引用

SDGs17のゴール

外務省HP　パンフレット持続可能な開発目標（SDGs）と日本の取組　から引用

目標1　あらゆる場所あらゆる形態の貧困を終わらせる
目標2　飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養の改善を実現し、持続可能な農業を促進する
目標3　あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する
目標4　すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
目標5　ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う
目標6　すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する
目標7　すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
目標8　包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する
目標9　強靭（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
目標10　国内及び各国家間の不平等を是正する
目標11　包摂的で安全かつ強靭（レジリエント）で持続可能な都市及び人間居住を実現する
目標12　持続可能な生産消費形態を確保する
目標13　気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
目標14　持続可能な開発のために、海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する
目標15　陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する
目標16　持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
目標17　持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する

総合計画とSDGsの関係（１）

SDGsの概念「誰一人として取り残さない、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現」は、すべての市民が住みやすく、幸せに暮らせるまちを目指す小城市においても大切な考え方です。

持続可能な開発目標（ＳＤＧｓ）の視点

「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）」とは、平成13（2001）年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、平成27（2015）年９月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記載された平成28（2016）年から令和12（2030）年までの国際目標です。

17のゴールと169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人として取り残さない」ことを誓っています。

小城市においても、SDGsの理念や関連性を意識しながら、各施策に取り組むこととしています。

＜第2次小城市総合計画＞

総合計画とSDGsの関係（2）

政策１　住みたい！と思う笑顔が集まるキレイなまち

施策名	快適な生活環境の保全と循環型社会*1の形成
1-2	

現状と課題	核家族化や高齢化の進行により、管理されていない空き家をはじめとする身近な生活環境への問題が深刻になっています。 快適に暮らしていくためには、一人一人がルールを守り、ごみの減量化・リサイクルに努めていくことが必要となってきています。

対象	A.市民 B.市民、事業所	意図	A.快適な生活環境で暮らせる*2 B.ごみの減量化に取り組む

基本事業

① 快適な生活環境の充実

不法投棄、水質汚濁、騒音、振動など、定期的な情報収集により現状を把握し、生活環境問題に適切に対応しながら、再発防止を図ります。また、近年増加している空き家の状況に応じた適正管理を働きかけていきます。

② ごみ減量化・リサイクルの推進

ごみ減量教室や出前講座など誰にも分かりやすい広報啓発活動に取り組みます。また、各行政区に環境衛生推進員*3を配置し、地域の自主的な取り組みを支援していきます。

さらに、生ごみや紙類など再利用できる資源のリサイクル効果をＰＲし、市民や事業所に資源への分別を促していきます。

施策の成果を示す主な指標	H27 実績	R2 実績	R7 最終目標
快適な生活環境で暮らせている市民の割合	40.2%	38.6%	40.0%
家庭系廃棄物*4１人当たり排出日量	579.2g	596.3ｇ	553.0g
事業系廃棄物*5事業所１社当たり排出日量	17.2kg	14.5kg	14.2kg
（参考）生活環境に関する苦情件数	326件	227件※	―

関連するSDGsのゴールを掲げています。

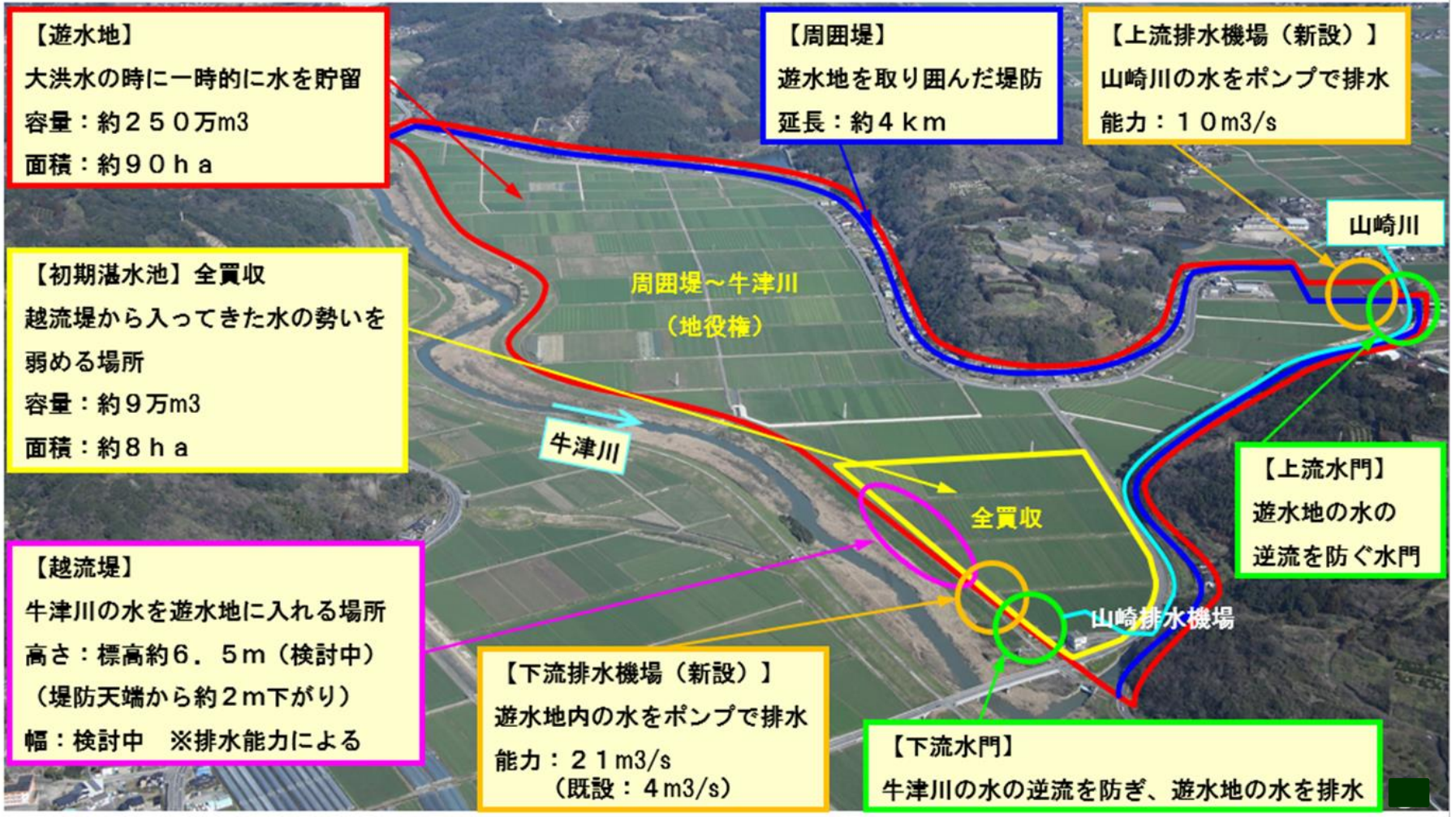
- 総合計画の取り組みを実行することが少なからずSDGsの推進につながります。

- 目標達成のためには、
  - 市（行政）ができること
  - 市民の皆さんができること
  - 企業や団体ができること

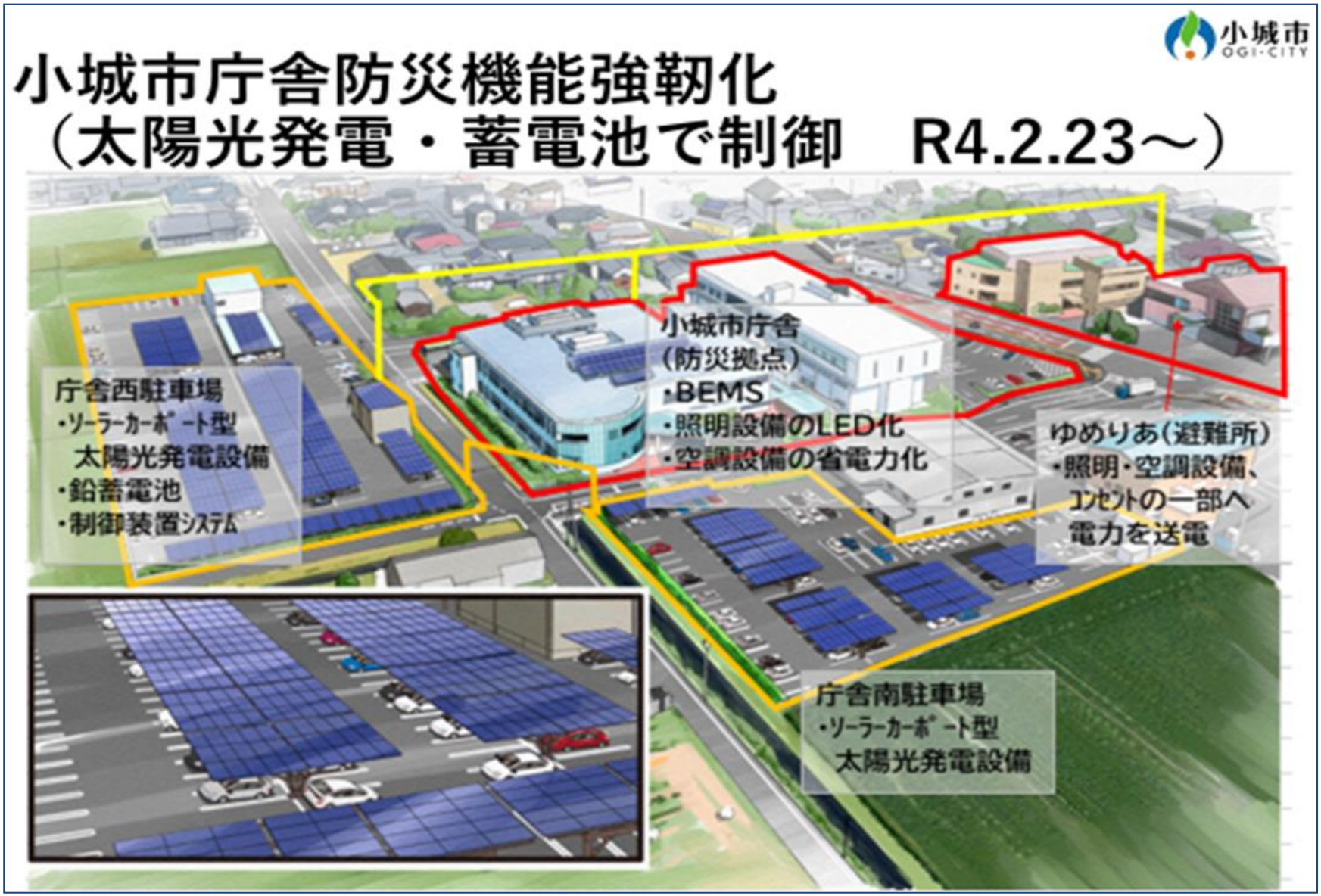
があります。
みんなで力をあわせてまちづくりを進めていく必要があります。

小城市の取り組み（牛津川遊水地整備事業）

・牛津川遊水地は、洪水時に牛津川を流れる水を一時的に遊水地内に取り入れ・ため込むことによって、牛津川を流れる水の量を減らすことで牛津川の水位を低下させます。
・その結果、牛津川の水が堤防からあふれさせることを防いだり、牛津川にある排水機場の運転を停止させないことにつながり、地域を水害から守ります。



小城市の取り組み（庁舎防災機能強靭化事業）



小城市の取り組み
（小城市フットボールセンター整備事業）

スポーツの振興につなげるため、
小城市フットボールセンターを整備しました。

小城市の取り組み
（生活支援体制整備事業（支えあい））

買い物支援

付き添い支援

ゴミ出し支援

小城市の取り組み（Ogi Ogiアプリ）

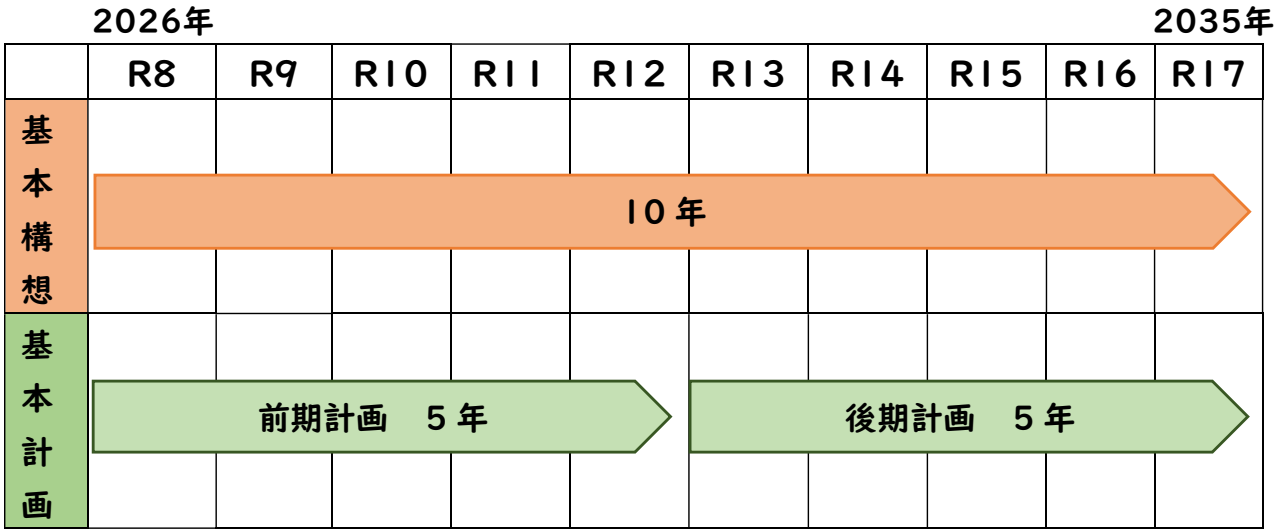
まちづくり市民会議について
～小城市のことを考えてみよう～

小城市をもっとよいまちにしていくために

・現在の第2次小城市総合計画の計画期間は、令和7年度までです。
・令和8年度からの第3次小城市総合計画を昨年度（令和5年度）から策定しています。

＜第3次小城市総合計画の計画期間＞

基本構想：10年
基本計画：前期5年
　　後期5年



令和17年（2035年）今から11年後、皆さんは何歳ですか？
その時、どんな「まち」になっていてほしいですか？

小城市の未来は一緒につくる

市民の意見やニーズをくみ取り、総合計画に反映させるため、R5年度からR6年度にかけて「まちづくり市民会議」を開催しています。

市民参画アドバイザー
加留部　貴行さん

まちづくり市民会議の様子は小城市HPからもご覧いただけます。

（市民会議参加者の属性）

	人数
女	35人
男	27人
計	62人

年代	人数
10代	28人
20代	9人
30代	6人
40代	4人
50代	9人
60代	3人
70代	3人
計	62人

地区	人数
小城	15人
三日月	13人
牛津	9人
芦刈	4人
市外	20人
県外	1人
計	62人

まちづくり市民会議の様子（第１回～第4回）

まちづくり市民会議（第１回）

小城市のこれからの将来像を探る

「未来の小城市がまわりから
とてもうらやましがられているとしたら、
どのような“まち”や“くらし”に
なっているでしょうか」

まちづくり市民会議（第２回）

小城市のいいとろを褒めよう！課題を徹底的に出し合おう！

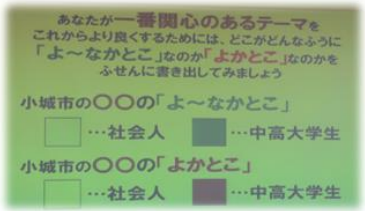
「現在の小城市の
「よかとこ」「よーなかとこ」は何ですか」

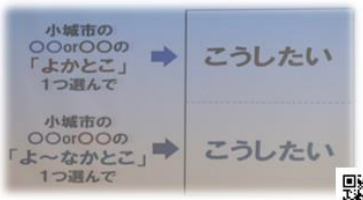
まちづくり市民会議（第３回）

小城市の課題を深堀りする

「小城市の〇〇の「よかとこ」
「よーなかとこ」は何ですか」

「小城市の〇〇の「よかとこ」
「よーなかとこ」をどうしていきたいですか」





ワークシートはこちらから→

まちづくり市民会議（第４回）

小城市の「未来の新聞をつくろう」

未来の小城市がまわりから
とてもうらやましがられるまちや
くらしになっているとしたら
その時の新聞には
どのような記事が掲載
されているでしょうか

ワークシートは
こちらから↓

まちづくり市民会議の様子（第１回～第4回）

小城市の10年後のイメージは・・・

まちづくり市民会議（第４回）　～参加者から出たキーワードの傾向～

小城市の未来のキーワード

市民一人ひとりにとって誇れる小城市民であることを誇りに思えるまち

みなさんの想い・アイデアが未来に繋がっていきます

第２次総合計画目指す将来像
「誇郷幸輝」　～みんなの笑顔が輝き
幸せを感じる　ふるさと小城市～

まちづくり
市民会議での意見

市民アンケート
将来像キーワード

人口推計
各種統計データ

人と繋がることで幸福度が増す
人と人との繋がりがある
人が集まるまちは魅力的
小城に対しみんなが自信を持って誇りを持つことができる
人と人、人と企業、すべては繋がることから始まる
市民ひとりひとりにとって誇れる市⇒自発的な行動に繋がる
市に愛着を持つと熱心な活動に繋がる
住みやすい、戻ってきやすいまち
人と人が交わることで、歴史・文化・環境が繋がり継承される

地元愛
全世代が元気
小城のことが好きと自慢できる

安全安心
美しいまち
どの世代も住みたくなる
みんなでつくる
自然、快適
若者の定住
みんなが元気
共に創る
子どもから大人まで活力あるまち
資源も含めみんなが主役
幸福満足度が高いと自然と住むまちに誇りを持てる
応援してもらえるまち

継続性

基本構想

目指す将来像　●●●●●●●●

政策１　政策２　政策３　政策４　政策５　・・・

本日のまとめ

・総合計画とは、市民の皆さんと共にどのようなまちを創造していくのか、その方向性を示す小城市の将来のまちづくりの計画です。
・総合計画の推進は、SDGsも関連しています。
・現在の総合計画はR7年度までであるため、R8年度からの10年間の計画を策定中です。
・小城市の総合計画は、住みやすいまち、幸せに暮らせるまちを目指すため、市民の方や関係者と一緒に作ります。
・そのために、小城市では、「まちづくり市民会議」を開催しています。
・計画は作るのがゴールではありません。目標に向かって実行するのが大切です。実行するには市（行政）、市民、企業・団体等それぞれができることがあります。（市民協働・市民共創）

最後に

「まちづくり市民会議」に参加して、
将来の小城市に対する想いを伝えてみませんか？